



平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2201 (令和 3 年 1 月 28 日)

Rotary



2020-2021 年度

国際ロータリー会長／ホルガー・クナーク
2690地区ガバナー／菊池 捷男

会長／釜屋 治男 副会長／堀江 卓男
幹事／原 泰久 会 計／榎野 良文

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演 題
1月28日	会員 神田慎一・大島淳司	年男の抱負
2月4日	会員 久家正義・加藤 昇	年男の抱負
2月11日	休 会 (祝 日)	
2月18日		会員スピーチ
2月25日	休 会	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
39	32	7 (4)	91.43 %

■欠席者

飯塚俊／大谷良／園山 (牧野／伊藤／河原／黒田)

■来訪者

1/21 小玉・曾田・山本・清水・石田・錦織・塩野・竹内・浅津(出雲南)
山根(大社) 中村(出雲中央) 野々村(松江南)
堀江・中田・溝本(松江しんじ湖)

■メイクアップ

な し

■次回例会受付当番

(2月4日) 飯塚詔夫／伊藤義徳／加藤 昇

(2月18日) 三好洋平／清原正幸／黒田昌弘

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 2/1	松江南 2/8 2/22
火	出雲	松江しんじ湖 2/2
水	大社 2/10(一) 2/24(一)	松江 2/17
木	(一) ; ビジター受付 なし	松江東
金	出雲南	

■会長挨拶

相続が開始した場合は、遺言書の有無を確認し、遺産や債務の状況を把握し、相続人がだれかを確認してください。有効な遺言書があれば、その遺言に従って手続きを行なうことができます。

一般的に用いられる遺言には、「公正証書遺言」と「自筆証書遺言」の2種類があります。

「公正証書遺言」は、公証役場で作成・保管してもらう遺言です。専門家である公証人が法律の規定に基づいて作成するため、法的に正しい遺言を残すことができます。

「自筆証書遺言」は、自分で紙に書き記す遺言です。せっかく書いたものが無効とならないよう、形式どおりに作成しましょう。

不動産は相続登記による名義変更手続きをおすすめします。預貯金は、解約・名義変更手続きをすることになります。

相続登記の義務化が議論されていますが、相続登記の放置により不動産の売却が出来ず、各種公共事業がスムーズに進まないなどの問題が起きたり、長年放置され所有者不明となったりしています。

義務化によって、そのような問題が解消することが期待されています。

借金などのマイナスの財産が、多額だった場合は、放棄を検討します。

故人の相続開始を知ってから3か月以内に家庭裁判所に申述しないといけません。

令和2年7月10日に、全国の法務局において、自筆証書遺言を保管する新しい制度が開始されました。自筆証書遺言は、自分で書くことができれば、自らの意思により作成できる手軽な方式です。

■幹事報告

1. 菊池捷男ガバナーより

2021-2022 年度地区ガバナーノミニー(2023-2024 年度ガバナー)として

いしくら さだあき

石倉 貞昭 氏(松江しんじ湖RC)を正式決定の宣言がありました。

2. 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催のご案内

日 時 3月20日(土) 13:30 ~ 16:50

受 付 13:00~

会 場 ホテルニューオータニ鳥取

(会場とWEBによるハイブリッド方式)

当クラブ 堀江卓男会長エレクト出席致します。

3. 例会変更

○ 出雲中央 RC 2/1(月) → 1/31(日) 地区補助金事業
ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

4. 休 会

○ 松江 RC 2/17(水) 定款第7条により
ビジター受付 11:30 ~ 12:30 なにわー水

○ 松江南 RC 2/8・22(月) 定款第7条により
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 松江エクセルホテル東急

5. ロータリーの友事務所より

2月 職員は時差出勤、在宅勤務といたします。

■委員会報告

情報・雑誌委員会 : ロータリーの友 1月号の紹介

プログラム委員会 : 2月の例会プログラム予定表配布

■スマイル

釜屋 (年男のスピーチよろしくお願ひいたします。)

原泰 (年男2名の方、スピーチよろしくお願ひします。)

田中 (今日のスピーチ年男の抱負、大島・神田会員よろしくお願ひします。
またスピーチ楽しみにしています。)

「年男の抱負」

大島 淳司 会員



今年で48歳年男という年齢になりました。

これまでの人生では、年男だからと言って、特別に何か考えるということはあまりなかったように思います。今回、こういう機会を頂いてこれまでの自分であったり、これからの自分を考える良い機会ができたのかなと思います。

年男ということで、当然今年一年間ということも大事だと思うが、60歳までのこれからの12年間というものが、すごく大事になるのではないかと思います。

過去の自分を12年ごとに振り返ってみると、思い出すのは良かった思い出や楽しかった思い出よりも、ああすれば良かった、こうすれば良かったというような、後悔した思い出が多かったように思います。これから60歳までの12年間、様々な選択を迫られる場面がたくさんあると思いますが、あとになって後悔しないようにしたいと思います。

また、小さい頃は48歳の大人にもなれば、何でもできて、わかって勉強などする必要などないと思っていました。しかし、実際この年齢になると全然違って、毎日勉強の日々だと思っています。最近、50歳近くになると新しいことに対して、それを学ぶことが面倒くさくなってきているような気がします。死ぬまで勉強という気持ちで、新しいことに挑戦していかなければならないと思っています。

平田に U ターンして今年でちょうど20年になります。20年前とは仕事を取り巻く環境も大きく変わりました。20年前に今の状況を予想することはなかなか難しかったと思いますが、これから10年後、20年後を見据えて様々なことを考えてやっていかなければと思います。

ロータリーでも杉原さんの幹事ということで、まだまだわからないことだらけですが、ロータリー活動もしっかりやっていきたいと思っています。

12年後、またこの場に立ったら、良い報告ができればよいなと思います。

神田 慎一 会員



昭和 48 年生まれ今年で 48 歳になります。年男の抱負を語るのは人生で初めてです。心の中で考えるのと、口に出すのでは随分違いますので、今年は年男の抱負に責任を感じ行動して参りたいと思います。古美術の歴史を俯瞰すると48年はほんの一瞬です。瞬きほどの時しか生きておりません。そんな未熟者でも、大切な日本の宝、世界の宝を未来に残していかなければなりません。それが私の仕事です。ですので、年男の抱負は、目を磨き、心を磨くことと致しました。目を磨かなければいい仕事が出来ません。失敗は成功のもとといいますが、私の仕事において失敗は大やけどに繋がりがねません。ですから、順調な時でもそれを楽観視しないよう心掛けています。目を磨くには経験が一番だと思っています。ロータリークラブの会員さんと交流する事は人間形成を養う面において大きな経験だと思います。しかし古美術の世界では経験すればするほど失敗を警戒し恐れ不安が多くなってきます。子どもの頃はあまり不安などなく好奇心の塊でしたので、闇雲に行動した結果たくさんの失敗をしてきました。不安な気持ちがあれば、ある程度失敗を防ぐことができたはずですが、すなわちある程度の不安は必要という訳です。変な言い方かもしれませんが不安でいる時の方が落ち着くことがあります。過度な欲とか好奇心は商売成功の妨げになると思います。今は不安であることは自分の原動力であると思っています。不安な時は失敗を回避しようと試行錯誤して行動します。生きていかなければならないからです。特に今のようなコロナ禍の中では生きようとする力が不思議と湧いてきます。結果経験を積み不安であることを力に変えることが肝要であると思うようになりました。次に心を磨くことですが、「四つのテスト」を大切にしたいと思っています。まだロータリーに入会してから日が浅いのですがこの言葉が大好きです。この4つの言葉には自分への戒めが大いに含まれており、自分自身それが出来ているのか日々自問自答しております。このご時世、不安だらけではありますが、不安を原動力にし、目を磨き、心を磨いて参りたいと思います。